

平成16年度 (平成16年9月30日現在) 上半期財政状況

市では、毎年2回、上半期(4月～9月)と下半期(10月～3月)に分けて、その会計年度の財政状況を公表しています。これは、皆さんから税金として納めていただいた大切なお金が、どのように使われたのかをお知らせするものです。今回は、9月30日現在の平成16年度上半期の一般会計、特別会計、企業会計(上水道事業)の予算執行状況のほか、市債(市の借入金)および基金の現在高などについてお知らせします。

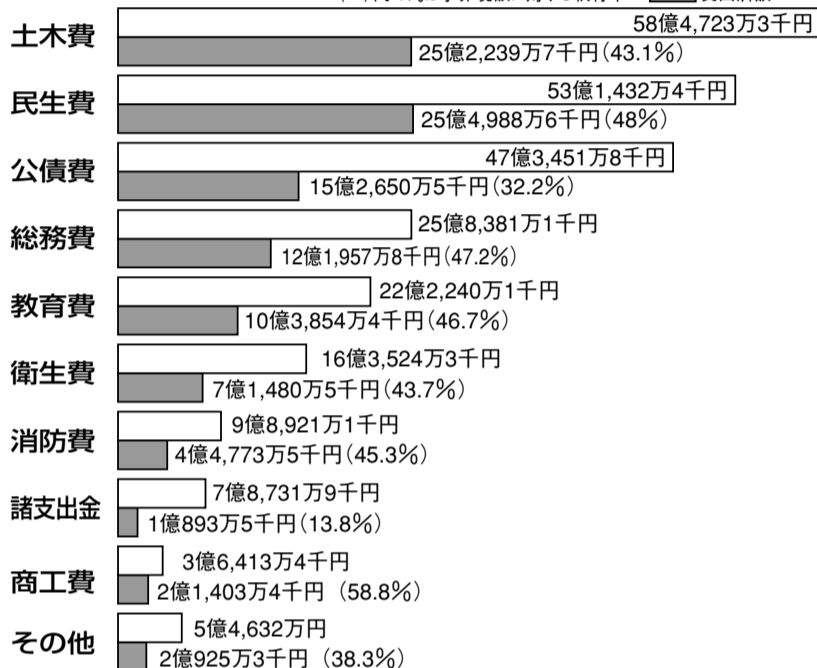
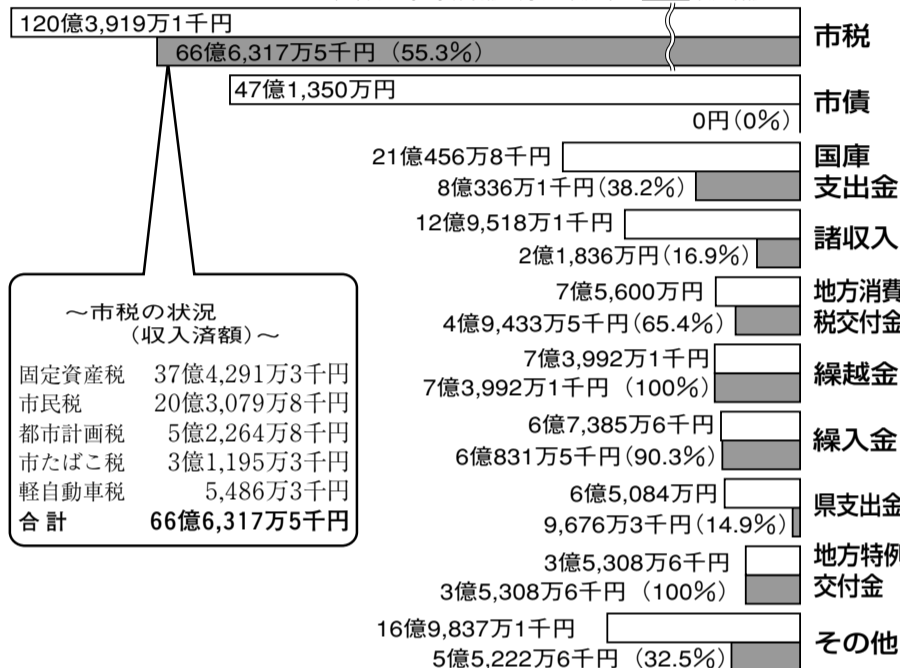
一般会計の予算執行状況

平成16年度の9月30日現在の一般会計予算額(現額)は、250億2,451万4千円です。この予算額(現額)に対する収入済額は、105億2,954万3千円(収入率42.1%)、支出済額は105億5,167万2千円(執行率42.2%)です。

歳入では、皆さんから納めていただいた市税を始め、国から交付される国庫支出金や諸収入などが大きな割合を占めています。歳出では、道路や排水路、公園などの整備にかかる土木費、高齢者や障害のある方への支援事業、介護保険事業などにかかる民生費が大きな割合を占めています。

歳入
 予算現額合計 250億2,451万4千円
 収入済額合計 105億2,954万3千円
 収入率 42.1%

歳出
 予算現額合計 250億2,451万4千円
 支出済額合計 105億5,167万2千円
 執行率 42.2%



市民の皆さんの市税負担と歳出状況(年間)

(平成16年9月30日現在の人口76,234人で算出)

市民一人あたりの市税年間負担額
15万7,924円
 120億3,919万1千円
(市税予算現額合計)
 ÷ 76,234人
(平成16年9月30日現在の人口)

市民一人あたりの歳出予算額
32万8,259円
 250億2,451万4千円
(予算現額合計)
 ÷ 76,234人
(平成16年9月30日現在の人口)

項目	金額
土木費	76,701円
民生費	69,711円
公債費	62,105円
総務費	33,893円
教育費	29,152円
衛生費	21,450円
消防費	12,976円
諸支出金	10,328円
商工費	4,777円
議会費	3,542円

特別会計および企業会計

(単位: 千円、%)

区分	予算現額	収入済額 支出済額	収入率 執行率
国民健康保険	7,268,431	2,883,350 3,561,925	39.7 49.0
公共下水道事業	3,782,546	1,899,032 1,769,735	50.2 46.8
老人保健	3,298,343	1,411,324 1,343,026	42.8 40.7
稲荷伊草第一土地 区画整理事業	60,436	12,714 3,053	21.0 5.1
稲荷伊草第二土地 区画整理事業	123,293	79,173 22,303	64.2 18.1
鶴ヶ曾根・二丁目土地 区画整理事業	357,678	285,543 65,984	79.8 18.4
大瀬古新田土地 区画整理事業	646,860	250,370 169,383	38.7 26.2
西袋上馬場土地 区画整理事業	213,204	79,651 43,123	37.4 20.2
八潮南部東一体型特定 土地区画整理事業	2,536,791	458,901 489,541	18.1 19.3
介護保険	1,926,809	875,605 724,898	45.4 37.6

上水道事業	予算額	収入済額 支出済額	収入率 執行率
収益的収入	1,701,191	867,779	51.0
収益的支出	1,723,218	789,841	45.8
資本的収入	673,156	83,088	12.3
資本的支出	1,127,430	275,563	24.4

地方債(市債)の現在高

地方債(市債)は、公共施設を整備する場合など一時的に多額の費用がかかるときに国や銀行などから借り入れる資金で、これを長期間にわたって返済することにより毎年の財政負担をならし、世代間の公平な負担を図っていくものです。

一般会計の主なものは、道路、排水路、小中学校など施設整備のためのものや住民税の減税の実施に伴い、国が特例で発行を認めた減税補てん債などが大きな割合を占めています。また、つくばエクスプレス建設のための出資金や貸付金の財源の一部として借り入れたものもあります。

(単位: 千円)

一般会計	28,628,077
特別会計	24,018,486
公共下水道事業	19,892,696
大瀬古新田土地区画 整理事業	729,450
西袋上馬場土地区画 整理事業	197,870
八潮南部東一体型特 定土地区画整理事業	3,198,470
公営企業(上水道事業)	3,465,645
合計	56,112,208

基金の状況

基金は、大規模な事業など一時的に多額の資金が必要となる場合や、経済変動に弾力的に対応するため、それぞれの目的ごとに積み立てる将来の「貯金」といえるものです。

基金の現在高 (単位: 千円)

財政調整基金	410,218
減債基金	486
公共施設整備基金	106
つくばエクスプレス 対策基金	958
ふれあい基金	30,000
教育基金	101,084
国際教育基金	101,202
国民体育大会開催基金	2
高速鉄道整備基金	30,150
合計	674,206